

## 海洋理工学会 2022 年度 春季大会プログラム

6月9日(木) 13:00-17:35

### シンポジウム「海洋観測の過去・現在・未来、無人／遠隔観測の可能性」

13:00-13:30 S1. 無人／遠隔観測の研究と技術 田原 淳一郎(東京海洋大学)

#### 長期海洋計測の歴史、新技術

13:30-14:00 S2. インド～太平洋域における海洋観測の過去から現在、そして未来

安藤 健太郎・植木 巖(海洋研究開発機構 地球環境部門)

14:00-14:30 S3. 海洋の衛星リモートセンシングの歴史と今後の展開

溝端 浩平(東京海洋大学)

#### 海洋計測の自動化技術

14:30-15:00 S4. 福島第一原子力発電所事故後の海洋モニタリングと原子力防災ツールとしての無人船の可能性

眞田 幸尚(原子力機構福島)

15:00-15:30 S5. ロボットを用いた海洋観測の自動化

中谷 武志(海洋研究開発機構)

(15:30-15:45 休憩)

#### 海洋計測の社会への実験挑戦

15:45-16:15 S6. 水中観測も可能な飛行艇型無人航空機の紹介

金田 政太(株式会社 スペースエンターテインメントラボラトリー)

16:15-16:45 S7. 水中ロボットを用いた調査業務の例と今後の展望

小石 明(株式会社 テクノコンサルタント)

16:45-17:15 S8. 小型 ASV を活用した磯焼け対策の事例

松永 浩志(マリン・ワーク・ジャパン)

林央之・宇田公紀・佐藤憲一郎・小澤知史(マリン・ワーク・ジャパン), 田原淳一郎・藤井竣・森戸誠・小野聡太郎(東京海洋大学), 新野大介(長井町漁業協同組合), 上野敦史・平出重信・三縄友弘(横須賀市)

17:15-17:35 総合討論

6月10日(金) 13:30 - 17:30

13:30-13:40 学会賞表彰

## 一般講演

13:40-14:40 センシング技術

---

A1. 海に秘めたリモートセンシング技術の可能性

☆崔 晋峰 (株式会社 PIESAT)

A2. AMSR2 による海洋観測と後継機 AMSR3 の開発

○江淵 直人 (北大低温研/JAXA)・可知 美佐子・島田 利元・吉澤 枝里・藤井 秀幸・小原 慧一・笠原 希仁・稲岡 和也・小島 寧 (JAXA)

A3. レーザー反射光による海中センシング技術に関する取組み【第2報】

○石橋正二郎・永橋賢司 (海洋研究開発機構/JAMSTEC)

14:40-15:40 評価手法開発

---

A4. 超音波を用いた巣穴形態計測法の基礎検討

☆立木魁, 平澤昭樹, 朝倉巧 (理科大院・理工), 水野勝紀 (東大・新領域), 清家弘治 (産総研)

A5. An efficient mussel distribution survey using high-resolution acoustic imaging sonar and deep-learning-based object detection

☆Zhao Fan, Katsunori Mizuno, Shigeru Tabeta ( Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo), Takato Asayama, Hiroki

A6. 海洋現場における全自動環境 DNA 解析に向けた現場型装置開発の現状と将来展望

○福場 辰洋 (海洋研究開発機構), 後藤 周史 (東京大学大気海洋研究所), 小林 陽子 (東京大学大気海洋研究所), 濱崎 恒二 (東京大学大気海洋研究所)

(15:40-15:50 休憩)

15:50-16:30 海洋観測測器

---

A7. 小型 CTD センサの性能評価

☆賀来 将大、渡 健介 (海洋研究開発機構)

A8. 300L 級 CT 校正バスを用いたアルゴフロートセンサー検定の紹介

○馬場尚一郎 (JAMSTEC)、橋向高幸、廣田聡子、横田牧人 (以上 MWJ)、平野瑞恵、細田滋毅 (以上 JAMSTEC)

16:30-17:10 海洋物理・生態

---

A9. 駿河湾 TS 構造の季節・経年変化

☆森雅弘・植原量行・高橋大介 (東海大海洋)・小林憲一 (静岡県水産・海洋技術研究所)

A10. 大阪湾・播磨灘における栄養塩類環境の変化がイカナゴ資源へ及ぼす影響の定量的評価  
～1990年代の栄養塩類環境を想定したイカナゴモデル解析事例～

☆丸尾哲平・田口浩一・市川哲也 ((株)サイエンスアンドテクノロジー)、反田實 (兵庫県農林水産技術総合センター 水産技術センター)、橋口晴穂・今尾和正 ((株)日本海洋生物研究所)

17:15-17:20 ベストプレゼンテーション賞表彰(☆発表者が対象者)

17:20-17:30 閉会